第73回北摂小児科医会プログラム

日時:平成24年12月8日(土)午後3時

場所:川西市役所 7階大会議室

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12-1

TEL: 072-740-1111

第73回北摂小児科医会 プログラム

日時:平成24年12月8日(土)午後3時

場所:川西市役所 7階大会議室

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12-1 TEL:072-740-1111

話題提供(15:00~15:15)

「抗インフルエンザ 治療剤(タミフル®) 関連情報」 中外製薬株式会社

大阪支店医薬情報管理室 早川一俊

一般演題(15:15~16:15)

前半の部 座長 芝田 美詠(市立川西病院 小児科外来応援医)

1) 『バルプロ酸が有効であった周期性嘔吐症と考えられる1例』

市立川西病院 小児科

藤田 博、村松 岳

症例は1 7 3 か月時からほぼ10 日から15 日周期で1 から2 日間続く嘔吐発作を繰り返した。高血圧、低 Na 血症は明らかでなかった。1 7 8 か月時からバルプロ酸の内服を開始したところ、嘔吐発作の消失がみられた。2 7 3 か月時に嘔吐発作が11 日間隔で2 回あり、バルプロ酸の血中濃度(30.1 μ g/ml)は安定時($50\sim70$ μ g/ml)よりも低値であった。その後バルプロ酸を増量して経過観察中である。

2) 『左口角下制筋形成不全を疑われた新生児の1例』

市立池田病院 小児科

廣瀬将樹、新谷 研、篠原京子、滝沢祥子、森田千佳子、尾崎由和、牧 一郎

出生直後から、睡眠時は左右差を認めないが、啼泣の際に左口角の動きが乏しい児を経験した。他の明らかな外表奇形は認めなかった。四肢運動など、他の神経障害は認めず、神経麻痺よりは筋形成不全によるものと考えられ、左口角下制筋形成不全の疑いにて当院形成外科コンサルトの上で経過観察となった。

3) 『精巣容量が増大するが 2 次性徴が発現せず、血中 LH の明らかな上昇のない成長ホルモン分泌不全症の 1 男児例』

西宮市立中央病院 小児科

中島良一、門谷眞二、八杉純、倭和美

症例は初診時12歳、現在15歳の男児。2歳半頃から成長率低下あり。頭部MRI正常。負荷試験でGH 完全欠損、TSH はほぼ正常反応だがfT4低下あり。PRL 基礎値の低下あり。LHRH・CRH 負荷は正常。GH・甲状腺ホルモン補充により身長増加あり、12歳10か月より思春期発来。睾丸容積は順調に増加したが、LH・テストステロン分泌は増加と低下を繰り返し、2次性徴はわずかにみられる程度である。



コーヒータイム・

 $(16:15\sim16:30)$



◇総会 (16:30~16:35)

後半の部 座長 藤田 博先生(市立川西病院 小児科診療部長)

4) 『性被害を受けた児童への対応』

兵庫県立塚口病院 小児科 毎原 敏郎

児童相談所での虐待相談対応件数の統計によると、性的虐待はその3~4%を占めるが、実際にはもっと多くの被害があると推定されている。性的虐待を受けた子どもは長期にわたって心理的な問題を抱える危険性が高く、また医療の現場では最も対応が難しいタイプの虐待であり、今後ますます重要な課題となる。性被害を受けた女児3人への当院の対応を通じて、司法面接の必要性を改めて認識したため、その研修の内容も含めて報告する。

5)『ESWL を施行した小児腎結石症の一症例』

箕面市立病院

小児科 中山尋文、武鑓真司、杉辺英世、木島衣理、金野浩、溝口好美、山本威久、 下辻常介、山本勝輔

泌尿器科 湊のり子

症例は9歳の女児。腹痛と肉眼的血尿のため救急センター受診後当院紹介となった。腎エコーにて左腎盂の拡大を認めたものの結石は指摘できず。間歇性水腎症の疑いにて経過観察とした。1年後に肉眼的血尿を認めたため腎エコーおよびMRIを施行した。左腎盂内に13×6mmの腎結石を認めた。体外衝撃波破砕術を施行した。排出された結石はシュウ酸カルシウム結石であった。

6) 『最近1年半の当科に入院した上部尿路感染症の臨床的検討』

市立伊丹病院 小児科

山本翔大、川村孝治、松村梨紗、神尾範子、中里寿美子、薮田玲子、有田耕司、三木和典

2011 年 4 月から 2012 年 9 月までの 1 年半に当科に入院した上部尿路感染症は 36 例あった。年齢は生後 10 日から 14 歳 2 か月で、23 例は生後 6 か月未満であった。男児 22 例、女児 14 例であった。起因菌は E. coli が 27 例(2 例が ESBL)であった。E. faecalis が 4 例であった。起因菌不明は 5 例あった。VCG は 21 例で施行された。当院で施行したのは 14 例で、うち 5 例で VUR を認めた。1 例は他院で重複尿管を指摘されていた。今回はこれらの症例を若干の文献的考察を加えて報告する。

共催:北摂小児科医会/中外製薬株式会社

アクセスマップ

◆公共交通機関をご利用の方

◆最寄駅からのアクセス

阪急電鉄川西能勢口駅下車約5分 JR川西池田駅下車約13分

◆お車を利用の方



川西市役所付近の駐車場

